

# 中学校第1学年 社会科・家庭科・総合 計17時間 学習指導案

アドベンチャーワールド 真柴唱子

## 1. 単元名

「世界各地の人々の生活と環境」

世界の人々の暮らしと動物の関係から多様性を学び、多様な視点で共生に向けた提案をする

## 2. 単元の目標

- ・「世界各地の人々の生活と環境」を理解し、人間以外の命にも視野を広げる
- ・世界の人や動物の暮らしについて、必要な情報をグループで協力して集め、課題を見出し、“多様性”とはなにかを考え自分なりに説明することができる
- ・この単元で学んだことを発信するツールとして絵と文章で表現することができる(絵本製作)

## 3. 単元について

### (1) 教材観

本単元では、世界各地の気候・文化・人々の生活・野生動物について、衣食住や宗教とのかかわりを中心に自然及び社会的な条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにする教材である。

### (2) 生徒観

テレビ番組やインターネットを介して世界の国々での出来事を容易に目にすることができる現代、生徒たちは国ごとに違いがあることは感じているのではと考えられる。

しかし、その違いはどこから来ているのか、地理的要因・民族性・歴史的背景などそれぞれが関わりあっていることには気付けていない。

### (3) 指導観

本単元では、社会科「世界各地の人々の生活と環境」の教育指導要領を基に教科書で単元として必要な情報を学びます。加えて、1人1台のタブレット端末を利用し、YouTubeやクックパッドなどのアプリを使用し、教科書には載せられていない映像や音声も資料として使用し、情報収集能力を養い、多様な視点で考えます。

グループワークを含むアクティブラーニングを行い、生徒に実体験としても心に残る学習を目指します。

### (4) ESDとの関連

#### ・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

多様性・地域による環境や生命、宗教、文化のちがいには“多様性”があること

相互性・社会課題には人、動物、植物などの命が互いに関わりあっていること

公平性・地域、人種・動物種、立場が違っていても全てのいのちに限りがあり、公平であること

・本学習で育てたいESDの資質・能力

つながりを尊重する態度

文化や立場の違いを理解し、自分自身も豊かな自然と文化に恵まれて暮らしていることを理解し、互いを尊重する態度を育てる。世界各地の暮らしやさまざまな環境で暮らす野生動物を映像でも紹介し、生徒の興味関心を引き出し、動物と人々の暮らしの関係について考えるきっかけとしたい。

多面的・総合的に考える力(システムズ・シンキング)

それぞれの立場や暮らしが違えば、考え方・捉え方が全く違うことを理解し、社会課題の解決のために多面的・総合的に考え提案する力を育てる

・本学習で変容を促すESDの価値観

自然環境、生態系の保全を重視する(生物多様性の重視)

人権・文化を尊重する(異文化への理解)

・達成が期待されるSDGs

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①世界の地理・主な宗教を理解している ②世界の主な野生動物の分布を理解している ③学び、調べて得た情報をディスカッションし、意見をまとめる技能を身に付けている	①必要な情報をグループで協力して集め、課題を見出し、“多様性”とはなにかを考えようとしている ②社会課題解決のために、その地域における多様な価値観に着目し、多面的・多角的に考察し、表現している ③学んだことをわかりやすく絵本で表現している	①自分も世界の人々の一員であるという認識を持ち、積極的に学び発信しようとしている ②多様な文化や価値観に触れ、自身にない視点を見出すことで、寛容な心で周囲と接しようとしている

5. 単元の指導計画

	学習活動	○学習への支援	○評価・備考
一次 社会科 6時間	<p>導入 世界の地理を学ぶ</p> <p>世界各地の動画鑑賞 森、海、山、川、砂漠、サバンナ、 湿地、極地(そこに暮らす人々や 動物も一緒に)</p> <p>印象的だった事を話し合う 自身の興味がある地域を挙げ、 興味関心の深い地域ごとにグ ループを作る</p> <p>グループワーク 地理・民族・言語・宗教・動物の 情報を調べる <a href="#">国・地域の情報</a></p>	<p>○映像を見る前に注目してほしい ポイント(自分たちの生活との違 い、課題だと感じる一面)を伝え 意識して見てもらう</p> <p>・広大な自然 ・発展途上の国 ・家の作りの違い ・街並みの違い ・どんな動物が暮らしているか ・治安の悪さ など具体的項目を提示する</p> <p>○地域のイメージ、社会課題につ いて予想外だった面も共有の時 間を取る</p>	<p>ア①②</p> <p>ア③ イ①</p>
二次 家庭科 4時間	<p>文化(衣・食)に触れる 講演を聞く 民族衣装を着る 楽器の演奏会、踊りを体験</p> <p>調理実習をする 代表的な家庭料理を作る 調味料なども複数味見してみる</p> <p>食べた後の感想をグループで共 有する</p>	<p>○ゲストティーチャーを呼ぶ ・現地のことを具体的に紹介 ・民族衣装や楽器を用意する 生活との繋がりを考える時間を とる</p> <p>○日本では馴染みのない食材を 用意。(ボルシチ、ピタパン、タロ イモ、タイ米 など)</p> <p>・食材 ・宗教 ・気候 ・配膳 などにも興味関心を持てる話題 提供をする</p>	<p>ア① イ② ウ①</p>

<p>三次 総合 3時間</p>	<p>動物園で学ぶ 事前課題用紙を持って出発 グループワーク</p> <p>世界の多様な命と出会う 生息地、分類、人・社会課題との 関わりをシートに記入</p> <p>飼育係と動物の関わり方を学ぶ 社会課題との繋がりも学ぶ</p>	<p>○事前課題を出す ・自グループの地域に暮らす 動物と関わる社会課題って何 がある？</p> <p>・観察ワークシート</p> <p>・飼育係から話を聞ける機会を創 る</p>	<p>ア② イ① ウ①</p>
<p>四次 総合 3時間</p>	<p>絵本制作 2時間 ※幼稚園児対象</p> <p>グループごとに ①衣・食・住・人々の様子 ②現地で暮らす動物の様子 ③社会課題 などをイラスト、短文を使用して表 現する</p> <p>地域の幼稚園で 読み聞かせ発表会1時間</p>	<p>用紙の準備 20ページ以内で表現 実際に自分たちが体験した所感 も表現に含めるよう伝える</p> <p>移動手段確保＋設営</p>	<p>ア③ イ②③ ウ①②</p>
<p>五次 社会科 1時間</p>	<p>活動の振り返り</p> <p>地域による違いの豊かさと面白さ に気付き、さまざまな事柄につい て世界規準で考える</p> <p>学んだことを社会へ伝える活動 へと発展させるため、身近な行動 目標を立てる</p>	<p>・全体の行程の振り返り</p> <p>・SDGsや多様性を伝えるための 校内展示、校外広報活動などに 繋げる</p>	<p>ア①② ウ①②</p>